



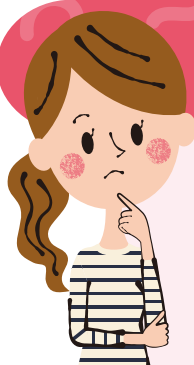
家計にやさしいジェネリック医薬品を使おう

ジェネリック医薬品にすると、価格が5割程度や場合によってはもっと安くなることがあります。個人の負担が抑えられるだけでなく、医療保険の負担も抑えられるので、保険料負担の面からも家計にやさしい効果があるといえます。

特に長期服用が必要な薬は大きな節約効果が期待できます。医師や薬剤師に相談してみましょう。



なんで安いのか？



新薬（先発医薬品）の開発には10年以上の期間がかかったり、相当なコストがかかることがあります。そのため専売特許として、20～25年間は独占的な製造や販売の権利が与えられます。

ジェネリック医薬品は、**新薬の独占販売期間が終わった後に販売される「後発医薬品」**です。そのため価格が新薬と比べて安くなっています。

？ 薬の効き目に違いはあるのか？

ジェネリック医薬品は、**先発医薬品と有効成分は同じ**です。効き目は先発医薬品で実証済み。保存料や着色料が先発医薬品とは異なるときでも、その使用は安全性が確認されたものに限定されているので安心です。
ジェネリック医薬品自体も国の厳格な審査をクリアし、製造販売が承認されたものとなっています。



どんな薬もジェネリックにできるのか？



すべての薬にジェネリック医薬品があるわけではありません。また処方せんにジェネリック医薬品への変更不可のチェックがある場合は変更できません。
ジェネリック医薬品に替えられるかどうか、医師や薬剤師に相談してみましょう。

健保財政の健全化のためにもジェネリック

自己負担がない場合はジェネリック医薬品に切り替える必要がないように思われるかもしれませんが、その場合は**健保が薬剤費を負担することになります**。
健保負担の軽減のためにも、ジェネリック医薬品の使用をお願いいたします。

